

「学生の授業評価」についての教員アンケート
集計結果報告（2008年度 後期分）

2009年7月

実践女子短期大学・自己評価委員会

2008 年度後期「学生による授業評価」に関する教員アンケートについて

自己評価委員長 萩野 敏

2008 年度後期の『教員アンケート報告書』が完成しましたのでお届けします。

今回のアンケートに対しては、2008 年度前期とほぼ同数の 58 通の回答が寄せられました。多くのご協力をいただいたことに深く感謝いたします。

回答の中身を見ますと、「学生の評価を全体としてどう受け止めましたか」という問いに対して、「だいたい納得できた」とする回答が 60.3%と最も多く、これに「十分納得できた」という回答を合わせると 98.2% (2007 年度後期は 94.6%、2008 年度前期は 96.6%) となり、学生の評価を肯定的に受け止めているという回答が非常に高い数値を保っています。また、このほかの質問項目に対する回答に関しても前回と大きな変化は見られず、ほぼこれまでと同様の結果となりました。

自由記述に関しては、今回からややまとめ方を変えて、「特になし」のようなものは無回答と同じ扱いとし、項目毎に何名から回答があったのかを数字で明記することにしました。読みやすさを考え、また回答者や科目の特定をさけるため、一部で字句や表現の修正等を行っているのは、これまでと同様です。

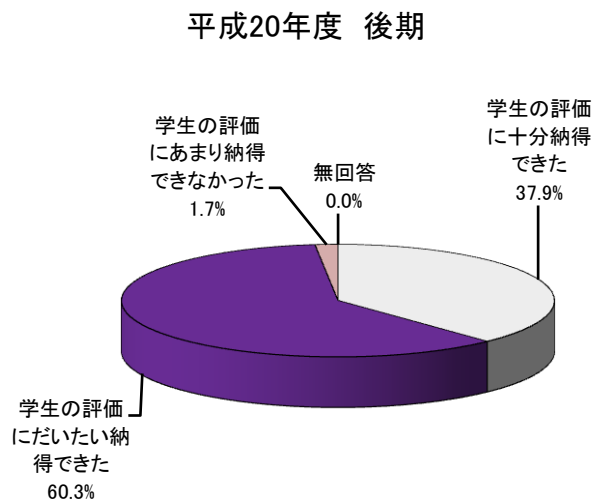
なお、設問 5 で学科や短大への要望を少なからず頂戴していますが、前期の報告書で前委員長がこの欄で触れていますように、特に教室の設備など教育環境に関するものは、アンケートの実施を待つことなく各学科・課程の研究室や講師控室にご連絡をいただければと思います。

最後になりましたが、この『報告書』が活用され、各授業の改善と向上に資することを心より願っております。

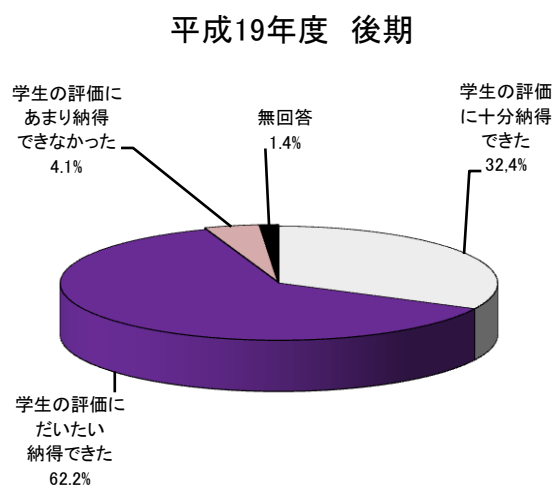
I. 設問 1、3、4に関する集計結果

— 平成19年度後期と平成20年度後期の比較 —

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。(一つ選んでください)



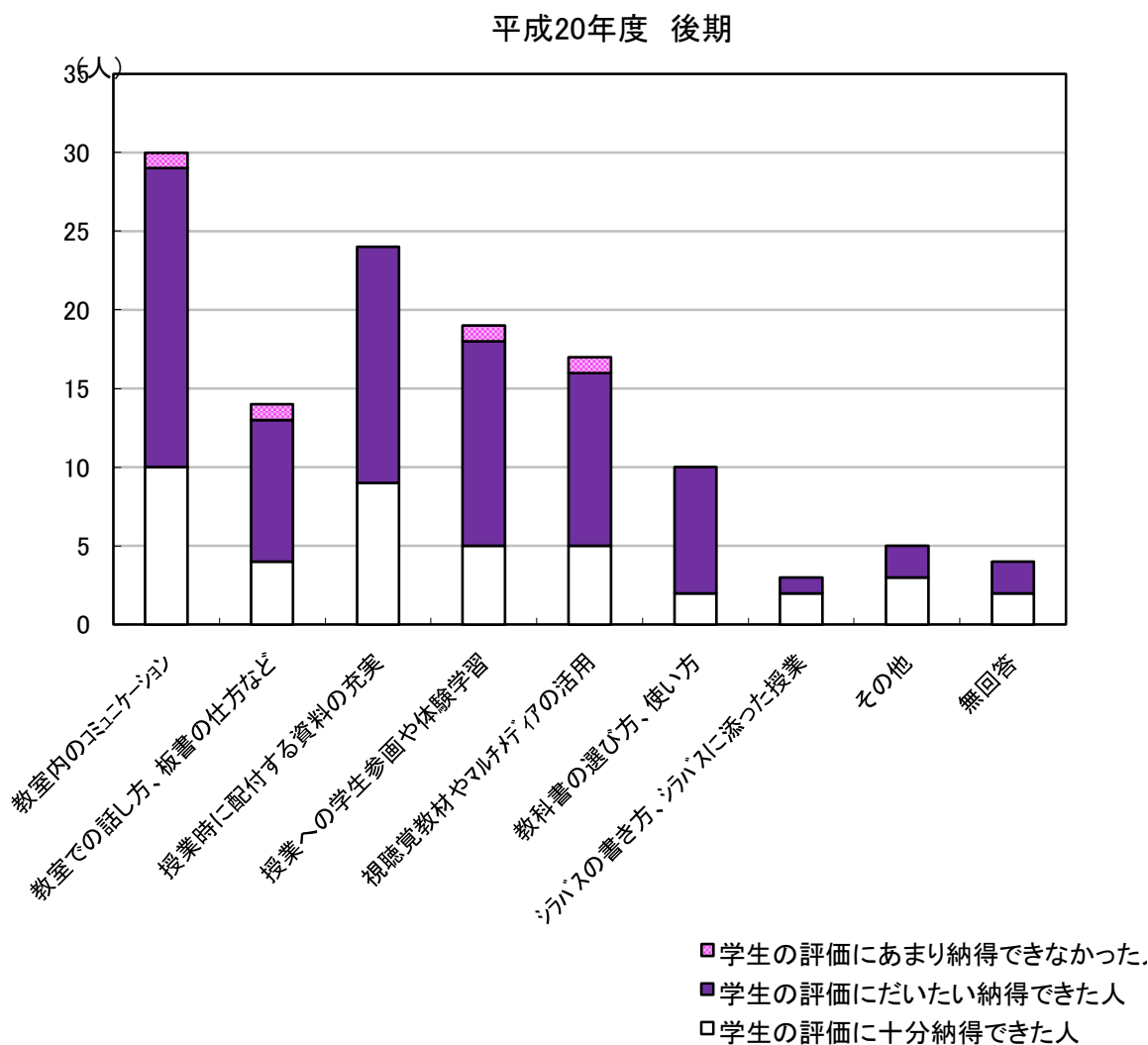
選択肢	回答(人)	割合
学生の評価に十分納得できた	22	37.9%
学生の評価にだいたい納得できた	35	60.3%
学生の評価にあまり納得できなかった	1	1.7%
無回答	0	0.0%
合計	58	100.0%



選択肢	回答(人)	割合
学生の評価に十分納得できた	24	32.4%
学生の評価にだいたい納得できた	46	62.2%
学生の評価にあまり納得できなかった	3	4.1%
無回答	1	1.4%
合計	74	100.0%

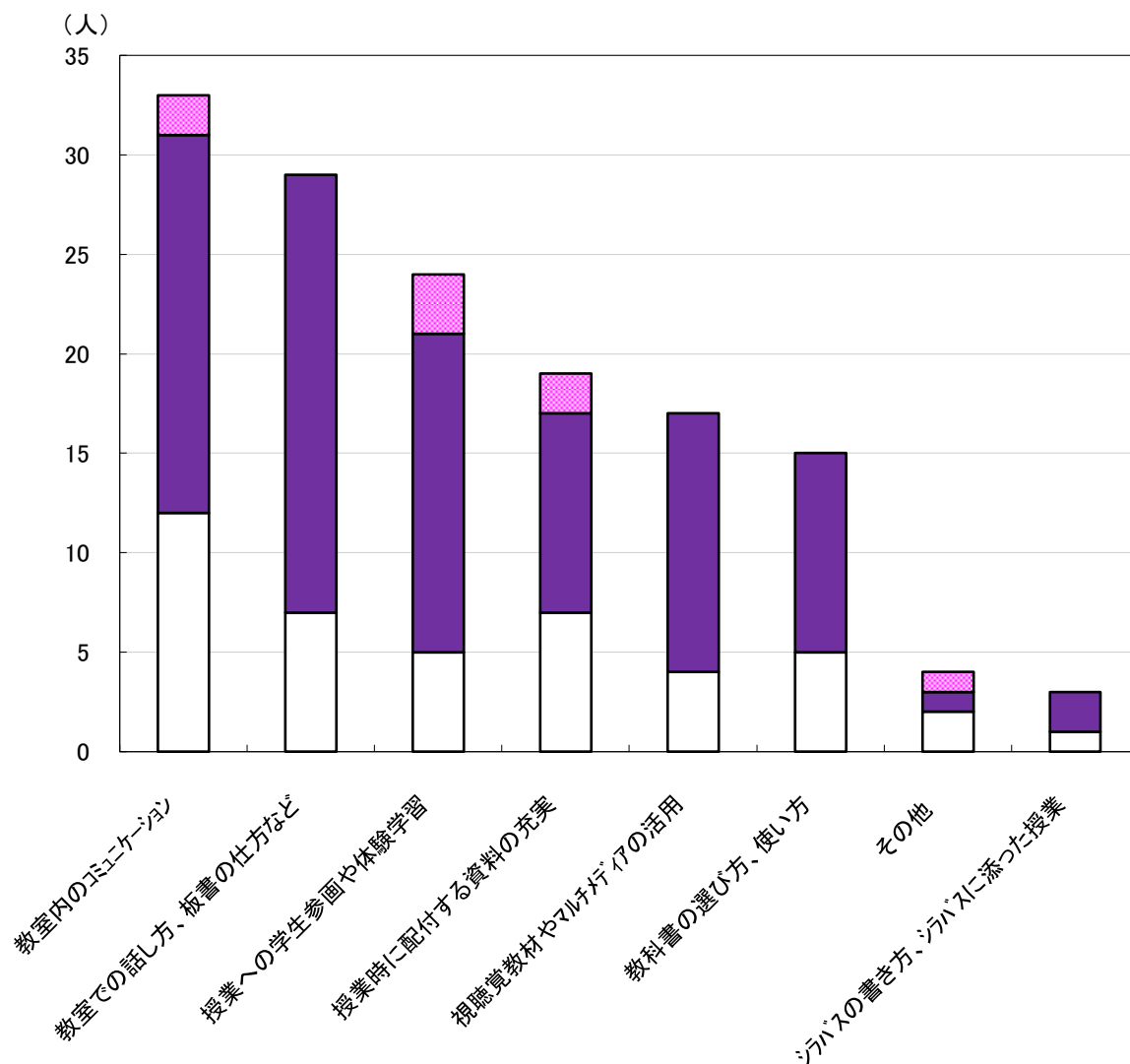
次の設問3および設問4は、学生の評価に「十分納得できた人」「だいたい納得できた人」「あまり納得できなかった人」の3群の先生方が、どのように授業改善を図りたいと考えているのか、学生に対してどのような要望をお持ちかを、それぞれ棒グラフにしました。

設問3. 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）



授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
教室内のコミュニケーション	10	19	1	30
視聴覚教材やマルチメディアの活用	4	9	1	14
教室での話し方、板書の仕方など	9	15	0	24
授業時に配付する資料の充実	5	13	1	19
授業への学生参画や体験学習	5	11	1	17
教科書の選び方、使い方	2	8	0	10
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	2	1	0	3
その他	3	2	0	5
無回答	2	2	0	4

平成19年度 後期

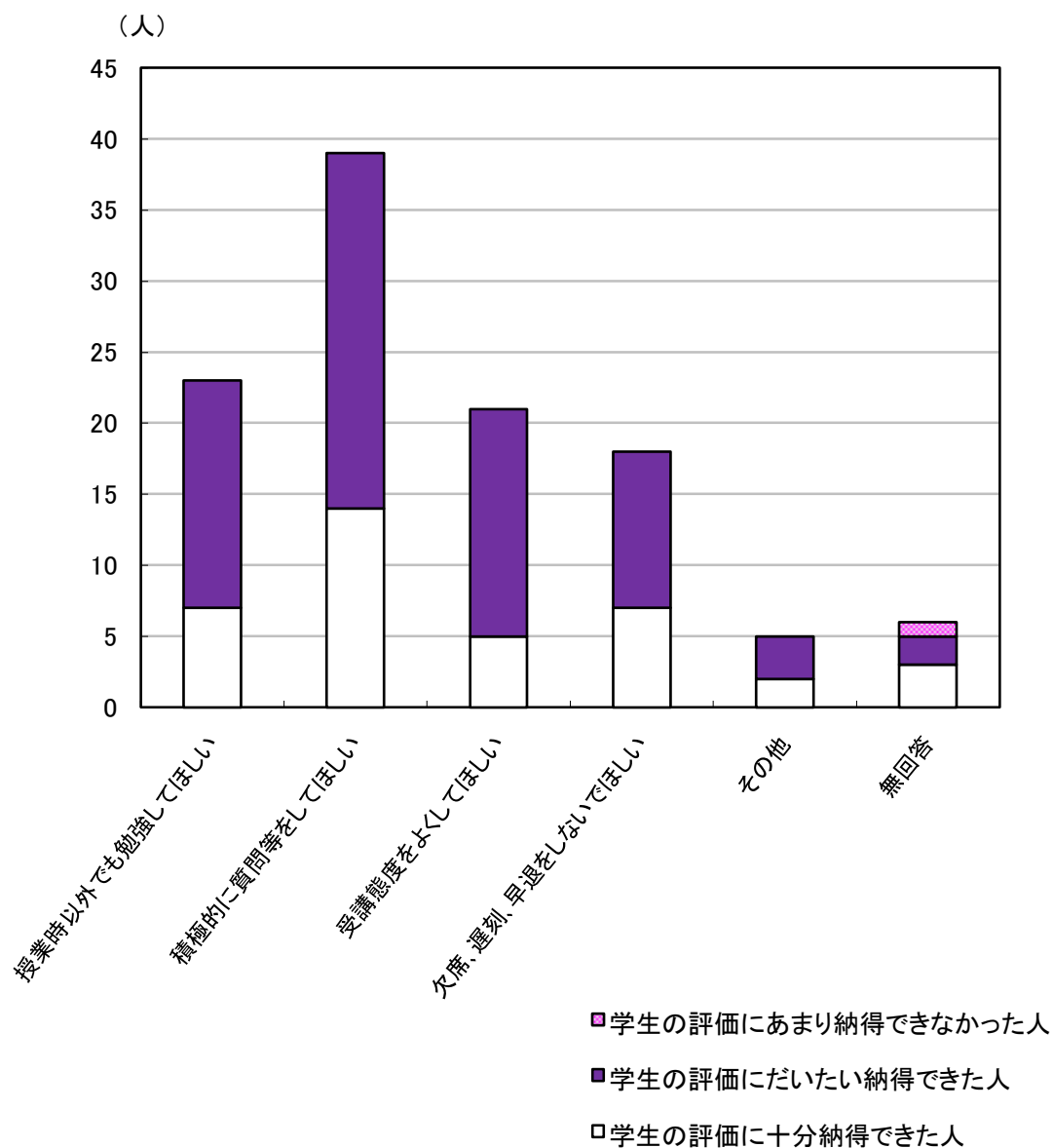


- 学生の評価にあまり納得できなかった人
- 学生の評価にだいたい納得できた人
- 学生の評価に十分納得できた人

授業で改善を図りたい点	学生の評価に 十分納得 できた人	学生の評価に だいたい納得 できた人	学生の評価に あまり納得 できなかった 人	合計 (人)
教室内のコミュニケーション	12	19	2	33
教室での話し方、板書の仕方など	7	22	0	29
授業への学生参画や体験学習	5	12	3	20
授業時に配付する資料の充実	7	10	2	19
視聴覚教材やマルチメディアの活用	4	13	0	17
教科書の選び方、使い方	5	10	0	15
その他	2	1	1	4
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	1	2	0	3

設問4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。（複数回答可）

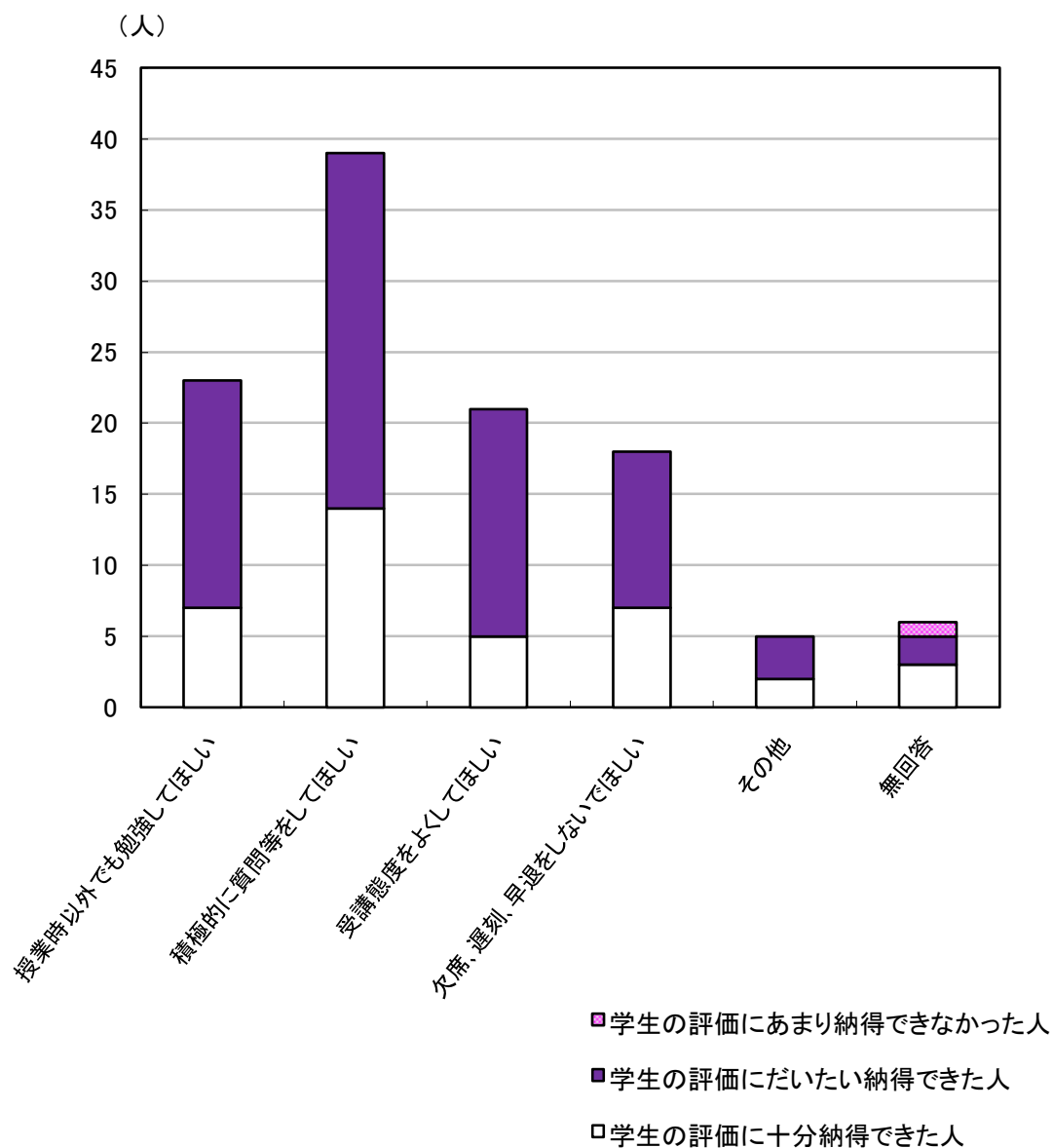
平成20年度 後期



学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
授業時以外でも勉強してほしい	7	16	0	23
積極的に質問等をしてほしい	14	25	0	39
受講態度をよくしてほしい	5	16	0	21
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	7	11	0	18
その他	2	3	0	5
無回答	3	2	1	6

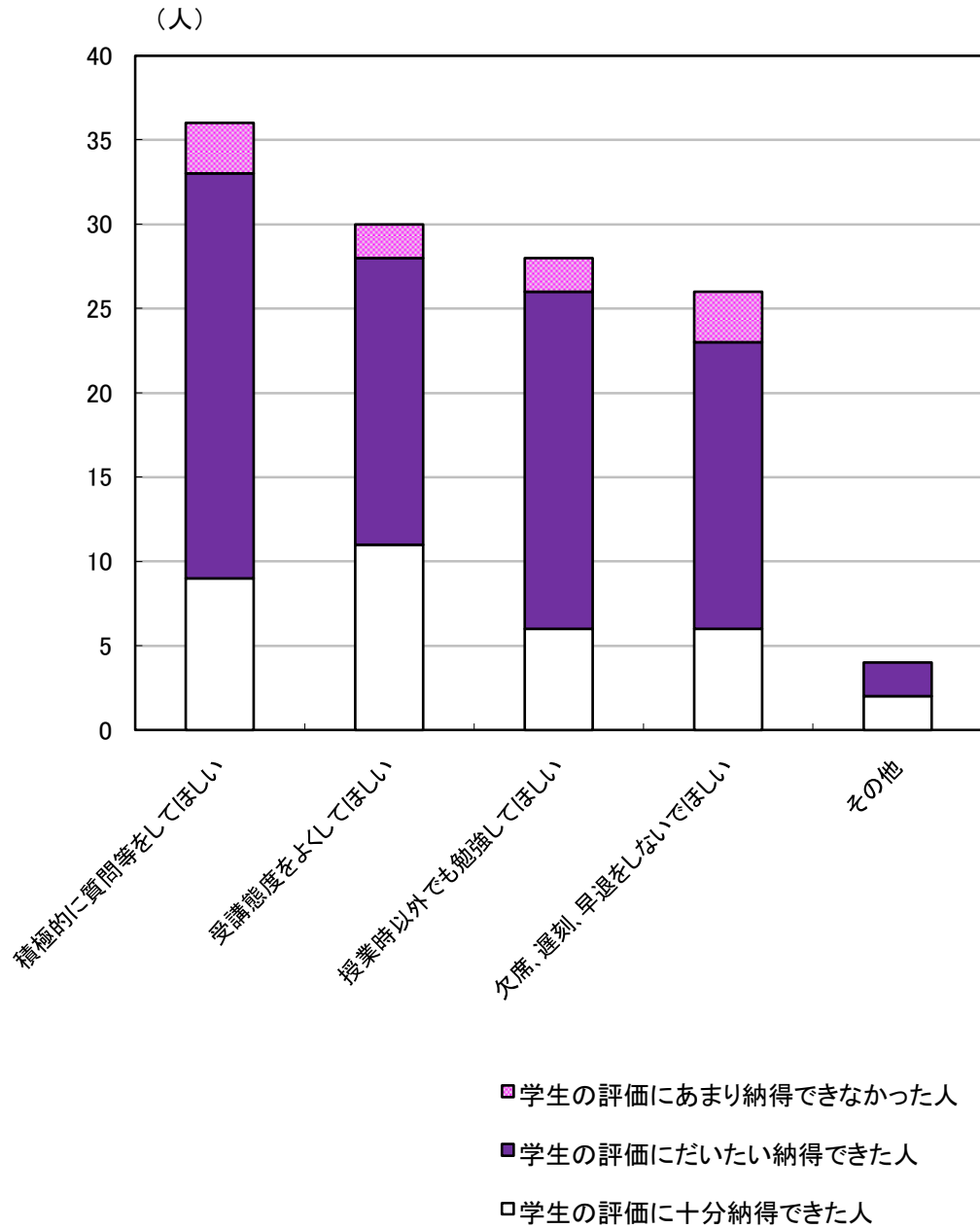
設問4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。（複数回答可）

平成20年度 後期



学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
授業時以外でも勉強してほしい	7	16	0	23
積極的に質問等をしてほしい	14	25	0	39
受講態度をよくしてほしい	5	16	0	21
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	7	11	0	18
その他	2	3	0	5
無回答	3	2	1	6

平成19年度 後期

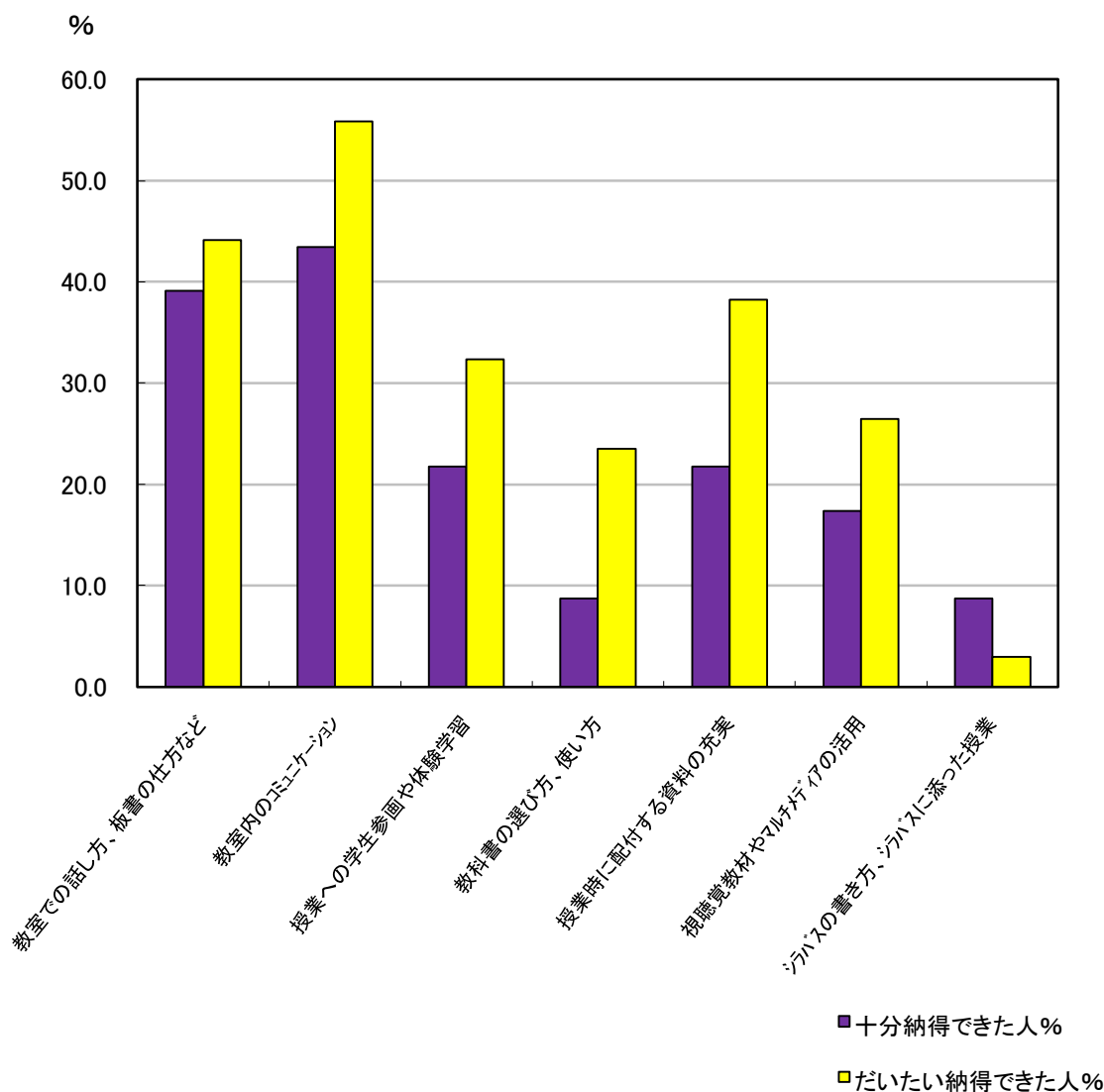


学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	9	24	3	36
受講態度をよくしてほしい	11	17	2	30
授業時以外でも勉強してほしい	6	20	2	28
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	6	17	3	26
その他	2	2	0	4

学生の評価に「十分納得できた人」と「だいたい納得できた人」の割合の差について

I 設問3. 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）

平成20年度 後期



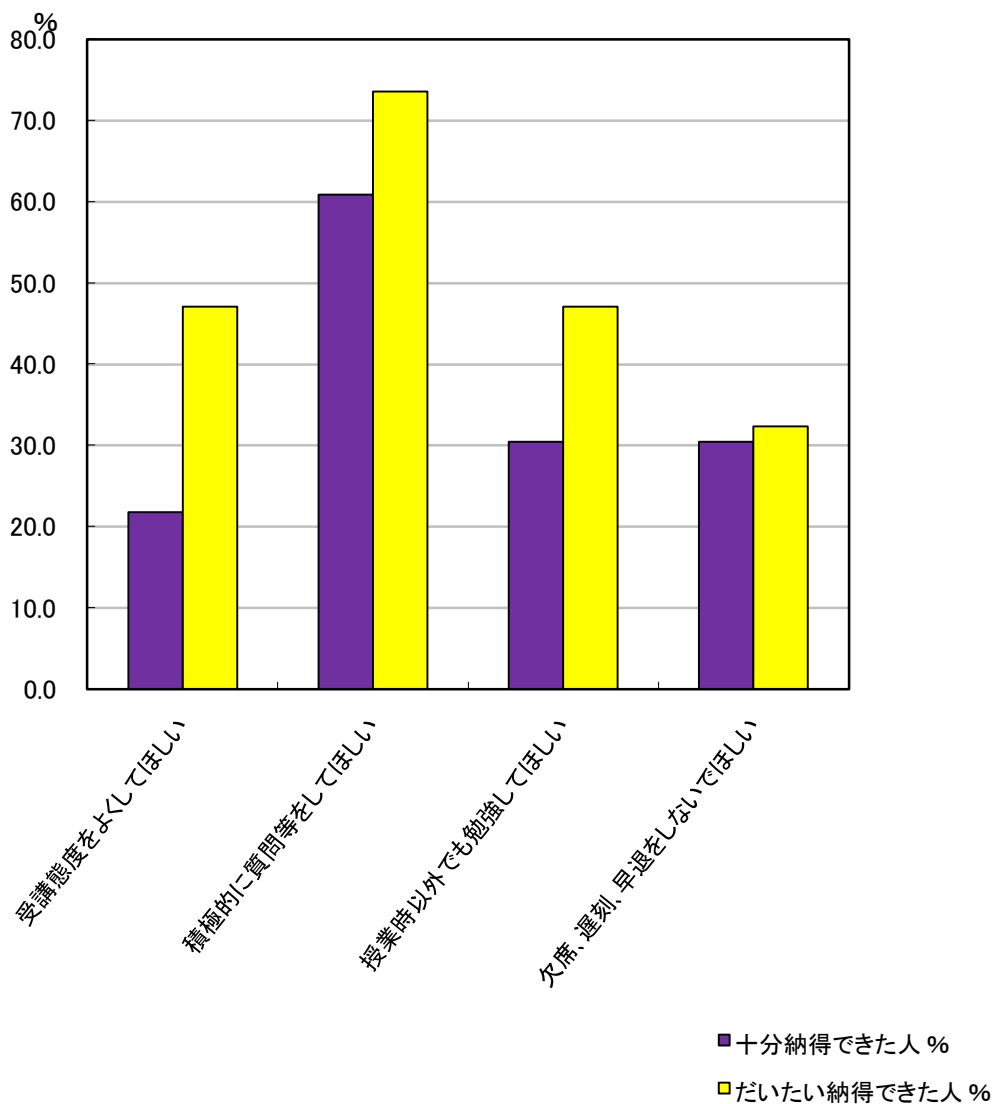
教室内のコミュニケーション	10	43.5	19	55.9	29
授業への学生参画や体験学習	5	21.7	11	32.4	16
教科書の選び方、使い方	2	8.7	8	23.5	10
授業時に配付する資料の充実	5	21.7	13	38.2	18
視聴覚教材やマルチメディアの活用	4	17.4	9	26.5	13
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	2	8.7	1	2.9	3
その他	3	13.0	2	5.9	5
無回答	2	8.7	2	5.9	4

※ 無回答を除く1人当たり回答件数 1.9件 ↓ 2.3件 ↓

注：「十分納得できた人」22人に対する割合 「だいたい納得できた人」35人に対する割合

Ⅱ 設問4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

平成20年度 後期



学生に対する要望	十分納得できた人 (22人)		だいたい納得できた人 (35人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
受講態度をよくしてほしい	5	21.7	16	47.1	21
積極的に質問等をしてほしい	14	60.9	25	73.5	39
授業時以外でも勉強してほしい	7	30.4	16	47.1	23
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	7	30.4	11	32.4	18
その他	2	8.7	3	8.8	5
無回答	3	13.0	2	5.9	5

※ 無回答を除く1人当たり回答件数

1.7件

↓ 2.1件

↓

注: 「十分納得できた人」22人に対する割合

「だいたい納得できた人」35人に対する割合

II. 設問 1 から 6 に関する自由記述のまとめ

*科目および担当者が特定される記述は、文章を損ねない範囲で修正いたしました。
また、類似の記述については、まとめさせていただきましたことをご承知ください。

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。 (有効回答数 36/58)

1. 十分納得できる (有効回答数 15/22)

- ・比較的得意科目については総合満足度が高いが、不得手と思っている科目については「大変不満」が4%程度出ている。相関しているように思う。
- ・人数が少なかったので、学生の意向に配慮しながら進めることができた点、またその際もコミュニケーションをできるだけ取るようにしながら準備を促すことができたためだと思う。また学生自身の意欲も低くはなかったことが大きいと思う。
- ・今回初めての授業でしたので、時間的に読めない部分が多々ありました。一生懸命取り組んでくれる学生のスピードにはちょうど良かったと思いましたが、そうでない学生は追い付いて来れない面があったと思います。
- ・講義中毎回ほとんど私語がなく、集中して授業ができています。
- ・分かり易く伝わるように努力した結果と受けとめています。
- ・学生達は、教員を本当によく見ていると思います。私が努力したと思っていることは、しっかり評価してくれています。学生の満足度をより一層高められるよう、努力を続けたいと思います。
- ・学生の反応は非常に良く、その結果がデータになって表れたようだ。
- ・やる気のある学生が多く、評価が高くなっていったと思う。
- ・満点に近い評価に感謝いたします。吸収力のある学生の器の大きさでしょう。
- ・少人数クラスなので手厚くサポートできていた点。
- ・完成した作品のみを提出可としている為、設問 11 での評価が低くなるのはうなずける。
- ・私が心がけていることが、ほぼ学生に伝わっていると考えられる評価でした。
- ・人数制限を設け、個々のレベルに合った指導を取り入れながらの授業が良い評価につながったと考えます。

2. だいたい納得できる (有効回答数 20/35)

- ・講義内容が多いという反応。
- ・比較的身近な問題を授業する場合は理解度もよく興味を持ってくれるようである。しかし、カタカナ言葉や反応式などが出てくると拒絶反応を示すものが少なくないため、当然難しく感じられたに違いない。席を温めるだけに登校する学生が多い昨今、自分で選んだ専門を極めるためには自分自身の努力が必要であることの「気づき」がない学生が多く残念である。

- ・毎回感じることだが、学生たち全員が各アンケート項目について熟考してマークしているとはいえない。
- ・講義中の感触や、各講義の最後に行っている小試験の解答の出来具合からみて、学生の自己評価も含めて妥当な評価である。自由記入欄への記入から判断して、ある程度の興味を持って受講できたのではないかと思う。
- ・いつもはビデオ教材を使った授業のほうが、満足度が高いのですが、今回は文法の授業のほうが満足度が高いのは意外でした。
- ・学生たちが、実際に体験して面白かったものについては、評価が高い傾向にあり、座学で基礎教養を要するものについての評価が低い傾向を示していて、納得できた。
- ・学生の質を反映したアンケートにしてもらいたい。
- ・作品の選択段階から、学生と私に思い違いがあったようです。学生は、「知らない作家の作品も入れて読みたい」ということだったようで、それを私が「なるべく多くの作品をこなしたい」という希望だと受け取ったことから、ずい分くい違いがありました。
- ・全体的印象として、概ね、平均的であると感じる。
- ・設問16・17は教員が特に指示した場合のみ解答するはずなのに、読まず、聞かずに記入している。こういう解答用紙は、人数の少ない科目で一律に3以下をつけられたら数値も下がってしまうので、他項目も読まずに適切につけた可能性が大いにあるので無効票にしてほしい。
- ・貴学における非常勤講師を行ったのが初めてであった為、学生のレベル、意欲を事前に把握できなかったことが満足度が低かった原因と推察しています。
- ・授業では毎回実際の様子をビデオで見たり、現役の指導者を招いて、特別講義を取り入れて分かりやすく授業を進めたところが良かったと思う。
- ・評価が学生によって分かれており、意欲的に授業に取り組んだ学生の評価は高い傾向がある。積極的に質問するように求めたが、ほとんど質問が出なかった。それでも質問に対する教員の対応の評価欄に記入されているのが不思議。
- ・設問1の私語について、「そう思う」がもう少し多いのではと感じた。
- ・力を入れた点は回答に反映された。
- ・全体にもっと悪い評価を受けると思っていたが、“並”だった。学生の評価が全体的に甘いようだ。
- ・他の科目とは多少違った科目である点、授業内容にとまどいがある点は理解できる。しかし十分意欲的に取り組んでいると思う。
- ・授業の「振り返り」として終了時にレポートを提出してもらいました。感想、質問をその中で解決できたことがよかったと思います。
- ・教員の私にも責任の一端がありますが、担当したクラスは私語が多くて閉口しました。十分な指導ができなかったように思います。
- ・学生達が自信を持ち楽しそうに実習をする姿。

3. あまり納得できない (有効回答数 1/1)

- ・設問を読まないで、回答している。縦1列、同じ評価を並べたり、ジグザグに印をしたりしている。仮に、自分にとっての授業の評価が4なら、全項目を4につけるなどの、記載のしかただと思う。集計結果は正直な結果だろうが、細部は判断材料になっていない。

設問2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見をお書きください。

a. レベルについて (有効回答数 54/58)

- ・短大に入学して初めて履修する実学といってもいい科目なので、学生にとってはレベルが高く感じられるかもしれない。
- ・最低限度の内容なので、ついてくる努力がほしい。
- ・栄養士養成の現場は、いずれは管理栄養士国家試験を受験するものが数名でもいる以上はあまりレベルを落とした授業はできない。レベルを保ちつつ分かりやすい授業になるよう努力をしたいと思う。学生も一緒に努力をしてほしい。
- ・理解できるかどうかというよりも、自分でしっかり考えられるかどうかに主眼をおいたため、難度を感じた学生は少なかったようである。
- ・「もっと易しく、ゆっくり授業を進めてほしい。」という希望が常にある。しかし、レベルをどんなに下げても、いつまでもそういう希望が出るように思える。また、レベルを下げると、出来たときの達成感が生まれにくい。
- ・今回の評価結果ではおおむね適切なレベルとの評価であった。真に理解できていたかどうかはともかく、現状以上にレベルを下げることは考えていないので、来年度も同様のレベルで講義を行いたい。
- ・毎年同じことですが、会話クラスはそれほどでもありませんが、文法クラスはレベルが適切でないという回答が多いです。
- ・科目によってレベル設定が違うので書きにくいですが、こちらが創意工夫しているものについてのレベルは、さほど高いと認識されず、いわゆる大学の教養系に属するような科目については、レベルが高いと思われるようだ。
- ・妥当です
- ・80%以上の学生が「適切」と答えたが、試験をしてみると誤記述が多くて驚いた。きちんと理解できているか確認する機会が必要だと感じた。
- ・レベル・量ともにある程度維持しなければならないと考えている。

- ・授業レベルについては、結果的には妥当だったのだと理解した。決して易しいレベルにはしていないが、取りかかり易いテーマを組み込みスケジューリングの流れがわりと良かったのかも知れない。
- ・レベルは少し高度であったが、授業に出席すれば十分解ける内容であった。欠席の多い学生は理解できていないものが散見された。
- ・レベルについて、学生の満足度は高い方ではあったが、もう少し内容を充実させたい。
- ・学生の学力レベルに合わせた授業内容を検討する。
- ・「易しい」と感じている学生がいました。学生の能力にバラつきあり、ある程度はやむを得ないと考えます。できる限り、全員を底上げしたいと思っています。よくできる学生については個々に声がけをしていきます。
- ・演習授業の難しさを実感しました。欠席する学生が多いので歩調を合わせるのが大変です。次回はもう少しテーマを易しくし、中くらいの学生にレベルを合わせるよう工夫したいと思います。
- ・生徒に理解しやすい表現を心がけているつもりだったが、更に改善が必要かとも思った。
- ・レベルという前に、学生とも話したのですが、読んだことがなかったジャンル（詩）なので、「まずどう読むかが、分らない」と言われました。レベルとして難しいより、まず親しめなかったことがあったのかと思います。
- ・「強く」および「やや」そう思うが約70%程度なので、妥当と考える。
- ・学生の意欲、態度、知識に格差が大きく、担当した科目を必修科目として扱うには無理があると思う。
- ・実社会での経験がないので、内容的に理解しにくい点もあったかもしれない。
- ・専門的な知識がほとんど無い為、限られた時間の中では現状の内容が精一杯かと考えています。
- ・「あまり思わない」～「強くそう思う」まで回答が分布しており、「難しい」と評価した学生に対して、十分に指導が行き届かなかったと反省している。
- ・適切だったと思う。
- ・昨年と同じ授業で、レベルが難しいとする学生が5名中1名いたが、それ以外は適切と考えられていた。真面目に取り組んでいる学生のためにも、講義内容の質を確保するため授業のレベルを下げるつもりはない。
- ・科目、クラスによって若干違いはありますが、学生の3分の2に理解されるレベルを目指していますので、少数ですが「レベルが高過ぎる」と回答しています。これらの学生には、個別的にオフィスアワー等を活用して対応したいと考えています。
- ・だいたいよかったかと思う。

- ・レベルはやや高めだったか。しかし、適正に近かったように思う。
- ・レベルについて「あまりそう思わない」人は若干いたが、その他はすべてそれ以上の評価であり、この授業については適切なラインだと思う。
- ・難しいと感じる学生が少なく、概ね平均的なレベルで進められたと思う。
- ・授業内容は新しい知識や体験でしたが、学生が十分理解できる範囲だったと思います。
- ・できるだけ実例を使って話を進めたので、妥当なレベルと評価結果だと思う。
- ・「レベルが適切かどうか」の評価については、「どちらとも言えない」が 37%で一番多くなっていた。まだ 1 年生でしかも必修であり、疫学や統計中心の理論性の高い科目であることから無理からぬことと思いました。
- ・学生の興味、関心と時代のニーズにあわせてレベル設定をしました。
- ・今年は適切であった(77.8%→5、22.2%→4)とあるが毎年レベルは下げている。以前は難しいという意見も散見できた。
- ・実技であるので、学生の技術のレベルというより、時間中にできなかった課題をしっかりとクリアしていくという「学習課題を身につけさせることができるか」という点に注目していきたい。完成した時の「達成感」、「喜び」を大切にしたい。次に挑戦する意欲も持ってほしい。
- ・やや難しく感じた学生もいるようですが、授業の内容が高校までに全く接することのない分野であることからやむを得ないと思います。必ずしも易しいことがいいことではないと思いますが、教え方の工夫は必要なのかと感じています。
- ・適当である。
- ・演習をとり入れ、分かり易い授業を心掛けたことが良かったと思います。
- ・授業の中に今日的な話題をかなり取り入れているつもりなので、多少難しいテーマを取り上げるケースもあるが、理解は可能である。
- ・学生の評価と同じで妥当だと思います。
- ・評価が 3.8 と 4.8 です。レベル的には妥当であったと思います。
- ・これから先が楽しみです。
- ・学生の知識レベルが非常に低下している現状にあって、学生が想定しているレベルに合わせるより、社会が要求しているレベルに引き上げられるよう、基礎知識を大学まで補強してあげられるシステムを大学側が用意するべきではないかと考えます。
- ・将来につなげるため、かなり具体性を持たせたので、レベルが高すぎるという評価はなかったと思う。
- ・やや高いレベルのようであるが、それも受け入れて取り組んでいると思う。
- ・2科目担当しているが、評価は両方とも4より上でした。大体学生のレベルにあっているのではないかと思います。

- ・レベルは少し落とす方が、理解しやすくなるかもしれません。
- ・科目の性格上、毎年データや法令が変化するため、テキストが後追いというのが現状なので、プリントや板書で補完している。特に難しくしている訳ではなく、専門として知っていてほしい知識を伝えている。
- ・かなり易しい教科書を選んだつもりでしたが、約4分の1の学生が「どちらともいえない」「あまりそう思わない」と答えたのが意外でした。
- ・授業の中での項目によっては、少し難しいところがあったかもしれない。
- ・前期に比べて試験問題を減らしたためか、レベルの評価が少し上がった。
- ・受講生が論述式試験の準備に熱心に取り組み、成果も出していたように思われる。一因には、受講生の数が前期に比して概して少なかったこともその原因か。

b.量について (有効回答数 49/58)

- ・講義内容やテキストの分量からすると、各科目とも比較的分量が多いと思う。私にとって、授業方法の改善を感じているところである。
- ・最低限度の量なのでついてくる努力がほしい。
- ・量を減らし、エッセンスだけにしたらと思われるかもしれないが、前後のことが十分理解されてはじめて「エッセンス」が理解できると思うので、そう簡単なことではないと思う。多少量的なものを減らしても理解できる範囲に絞るしかないかもしれない。次年度はさらに試行錯誤をしてみたい。
- ・テキストを用いなくなったためか、負担感は無かったようだ。一方でたくさんのことを学べたという印象を持っていたようである。負担感を感じさせずに必要なことを漏らさず教え込むことが重要だと感じた。
- ・パソコン操作の指導について、量を確保して、慣れることを目指すと、単なる反復作業になりやすい。自分で考えて作業をして、自分で失敗を見つけないと、「工夫をする」ということにつながらない。量は確保しているが、それが質につながっているように思えない。
- ・「少し盛りだくさん過ぎたか」との思いもあったが、概ね適切な量との評価であったので、来年度も同様の内容で講義を行いたい。質問時間を取らずに、時間いっぱい講義を行った。口頭で質問しても何もなかったことが多いので、小試験用紙に質問欄を設け記載があれば次回の講義で回答した。
- ・量については、学生から特に不満はないように思いますので、私のほうも加減が分かってきました。
- ・学生たちが、興味を持ち快適だと感じている科目の量は、多いとは感じられず、縛りが強く義務感で履修している科目については、多いと感ずる傾向があると思う。

- ・妥当です。
- ・限られた授業回数で、どれだけ要点を絞り中身の濃い授業にするかは毎年重視しているが、よりいっそう改善に努めたい。
- ・量は多めだと感じていたので意外だった。やればできる・・・と思ってもらえれば良かったと思う。
- ・授業の後半になると、課題の量をこなせない学生が出て来たので、出来る学生と出来ない学生とでかなりの差が出た。
- ・学生の理解度に合わせて予定していたことの8割程度にした。学生の満足度は高いようだが、出来ればもう少し増したい。
- ・毎年学生の理解度に合わせて調整しています。
- ・少し詰め込みすぎた感があり、最後のテーマを修正せざるを得なくなりました。量的には多いとは思いませんが、要求内容を少し調整する必要があると感じました。
- ・予定していたものは消化出来たので量については妥当だったと思う。
- ・私としては、昨年と比し、丁寧すぎる説明を心掛け、かつゆっくり進め、量もほとんど目標の半分といったところでしたが、学生は多いというのでびっくりしました。昨年と今年と学生を見ながら授業していますが、大差あり！
- ・「やや多めでもよかったのでは」とも考えている。
- ・80%以上の学生が適切だと評価しているので、量的な問題はないと思う。
- ・理解させながらの授業である為、現状の内容になると考えます。
- ・授業の中でも、学生から、“量が多い”というコメントがあり、今回の授業評価にも表れていた。
- ・適切だったと思う。
- ・やや多いとしたのが、5人中1名いたが、全体としては適切と思われる。
- ・多過ぎるという回答は認められず、ほぼ適切な量であったと思います。
- ・だいたいよかったと思う。
- ・量はやや多かったか。しかし、適正に近かったように思う。
- ・量については「どちらとも言えない人」～「強くそう思う人」に分布しており妥当だと思う。
- ・少し多かったと思いますが、何かしら教えたことが残っていると思います。
- ・毎回ニュースを取り上げていたので、量的にはかなり大きく（多く）なってしまった。評価も妥当な線である。
- ・「量は適切か」の評価については、「レベルについて」の評価に次いで、「どちらとも言えない」が多くなっていた。考えられる改善点は、さらに大学生らしい知的関心を誘導する方策を工夫できれば「意欲的にとり組む」ことができ、「レベル」「量」とともに、評価が上昇するものと思われます。

- ・講義内容やテキストの分量からすると、各科目とも比較的分量が多いと思う。私にとって、授業方法の改善を感じているところである。
- ・量的には過分にならぬようにバランスをとり、メリハリをつけて教えました。
- ・前期に比べて試験問題を減らしたためか、量についての評価が少し上がった。
- ・ある程度、多めぐらいの量が望ましいと思っていますが、演習の時間配分などはもう少し配慮が必要かと思いました。
- ・適当である。
- ・学生の理解度を考慮し、授業毎に質と量を調整しながら進めたことが良かったと思います。
- ・量的には決して多いとはいえない。自律での学習において、他の科目との調整が必要であれば考慮してみたいと考えています。
- ・振り返りながら、分からない点を復習したので、適量だったと思います。
- ・評価が3.6と5.0でしたので、量的にも妥当であったと思います。
- ・時間的にこれくらいでいいのではないかと思います。
- ・教える側からは、なるべく多くの知識を得てもらいたいと思うので、量は様子を見て増やしたいと思う。
- ・やや分量が多いようであるが、それも受け入れて取り組んでいると思う。
- ・一つのクラスは評価が4.5に近く、もう一つのクラスは4.5より上でした。量はちょうどいいと思います。
- ・量は教科の性質上減らすことが難しいです。
- ・必ずしも栄養士として就職しようとは思っていない学生には、「量が多い」、「レベルが高い」ということになってしまうのは否めない。ただ、スキルアップをするためには、量的にも増加してしまうことになる。
- ・量についても、レベルと同じく「やや多い」と答えた学生が4分の1いて意外でした。
- ・量については、多いと思っただけではなかったが、学生の評価によると、少し多かったのかもしれない。

設問3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどんなことですか。 (有効回答数 22/58)

- ・「大学で学ぶ」ということがどういうことなのか理解せずに、また明確な目的をもち入学して来る者が少なからずいるという現状が問題だと思う。自ら勉強する方法を身につける＝「学問する」ことを意図として入学すべきであると思うし、授業を受けるべきだと思う。もちろん、教員も授業改善に努力を惜しむものではない。「実践入門セミナー」等で注意を喚起できたらと考えている。

- ・学期はじめと中間にシラバスを読む機会を設け、授業を通して学びたいことの意識づけをきちんと行う。
- ・評価結果を踏まえたわけではないが、挨拶の励行を進めたい。また、毎日、新聞を読むことを推奨したい。
- ・画像や動画、サンプルなどを効果的に使用していきたい。
- ・今年は語学の授業ということもありますので、より一層コミュニケーションを図るように心がけたいと思います。
- ・講義をきいているときは「理解した」と思っている、自分で内容をまとめてみると、「理解していない」ところに気づく、こうした機会を増やしたい。
- ・学生の理解度で、課題を複数用意して行くのは、大変ではあるが、学生の理解度に応じた課題を出すようにしたい。
- ・初回の授業でテストやレポートの課題を出し、学生の学力や知的好奇心をチェックして講義内容を再検討する。
- ・改善を図りたい点の6（学生との質疑応答など、教室内のコミュニケーションをよくする。）は感想・質問メモを通して、かなり効果があり、学生にも良いと言われたので続けたい。質問コーナーの時間を毎時とりたいと思う。
- ・学生に理解できる内容の授業も重要であるが、先端的内容も紹介するよう心掛けたい。
- ・改善を図りたい点の5（ビデオや映像資料などの視聴覚教材やマルチメディアの活用を図る。）以外は、ソフト面、ハード面に関しては常に工夫していると思うがより一層工夫したい。授業改善に関する箇所ではDVDなど、教材として購入してもらえれば、もっと使用したい。
- ・学生をレベル別に分け授業を行う必要がある。
- ・個々の学生の学力・能力に対応した展開・工夫を心掛けている。
- ・配付資料の字が小さくて見づらいとの意見があったので、印刷の仕方を改善したい。授業を分かりやすくするため、教材を増加させたり、学生の参画機会を増やすなどして、できるだけ多くの学生が授業に興味を持ち、楽しく授業ができるような方法を考えてみたい。
- ・同じ教科を2クラスで行ったときに、どうしても評価に差が出てしまいます。できるだけ同じ評価が得られるように努力したいと思います。
- ・一人で話していたので、何とかして学生にも話をさせるよう工夫したい。
- ・よりハイレベルな提供へのバージョンアップ。
- ・過去の古い手芸雑誌や、私物の実物を参考資料としているが、生活文化学科の頃にあった資料があれば活用したい。
- ・3コマ担当しているが、人数の違いがあり、グループディスカッションを同じモチベーションで実施することが難しい点があった。人数が多いときに目配りに気

をつけていきたいと思います。

- ・学生の人数によっては、一方的な講義でなく学生の参画や体験学習にも力をいれることが難しく、これが現状で精一杯だと思う。
- ・板書はブロック体に徹するように心がける。
- ・できるだけ興味深い話題を提供して、私語を少なくしたい。
- ・教科書の選び方や授業時における使い方の工夫、授業時の配付資料について工夫したいと思います。教科書も自分で作る方が良いか、と考えています。また、試験の方法についても考慮中です。

設問4. この評価を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。

(有効回答数 27/58)

[受講する態度・心構えについて]

- ・欠席・遅刻が多く、一律な授業進行が困難であり、追いつかせるのに苦労する。
- ・欠席をした場合、遅れを取り戻す努力をしてほしい。講義内容や課題を公開しているが、閲覧していないようです。
- ・10分以上遅れると導入を欠くため理解に差が出てしまうので、遅刻には注意してほしい。
- ・授業中の中座が問題である。本当に手洗いか？メールチェックではないか！
- ・講義開始時にザワツキが目立つが、少人数講義で授業中の集中は保たれている。
- ・私語がまじめに学習に取り組んでいるクラスメートにどれだけ迷惑となっているかを理解してほしい。
- ・他校に比して私語が多い。注意すると「自分はしていないのに不快だ」などと苦情を言う。「私語はあくまで学生側の非である」ことを認識してほしい。
- ・授業中に「飲食しない」、「私語しない」などの態度を徹底させたい。
- ・授業に参加する以上、履修の理由が何であれ、最低のマナー、他者への配慮、教員への礼儀は必要だと思う。自由記述欄に、私語する学生が毎回同じ質問を書いて出したり、授業に対するルールが年間を通して変化しない学生がいたり、教員として初めての体験でした。
- ・注意集中を求めているのは授業時間の半分程度なのに、注意・集中が散漫である。
- ・緊張感に欠ける学生が多い。授業中に何度も注意するが、学生の「自律」を願う。
- ・バラエティ番組を見るような感覚で授業に出席するのでは困る。もっときちんとした姿勢で授業に臨んでほしい。
- ・必修科目でありながら、真面目な取り組みに欠ける。
- ・授業中、教員からの質問には答えてほしい。
- ・楽しい授業を心がけているので、もっと質問をしてほしい。

- ・授業中に質問時間を設けているがほとんど質問がない。かと言って理解しているわけではない。今年は学生を前半分の中央寄りに座るように指示し、コミュニケーション向上に効果があったと思うが、もっと自主的に前に座り、積極的に質問する姿勢を示してほしい。
- ・配布資料をできるだけ活用してほしい。

[学ぶ姿勢・心構えについて]

- ・「居場所としてではなく、学びの場として」学校を捉えてほしい。
- ・授業に出席するだけで安心しないで、自ら取り組んでみようとする姿勢を養ってほしい。教員としては、その姿勢を引き出せるように工夫したい。
- ・自己効力感や肯定感をもって、前向きにチャレンジしてほしいと願っています。
- ・予習・復習を日課とすることで学ぶ面白さが加わり、質問もできて「本来の大学生」としての生活が送れると思う。
- ・完成に向けて、計画的に学習するという習慣を身につけてほしい。
- ・もっと「何か言ってきて」ほしい。
- ・意欲を持って課題に取り組む姿勢がほしい。
- ・「考えること」を最初から放棄する傾向が一部にみられるので、苦手なことも自分で考えて取り組む姿勢がほしい。
- ・積極性と向上心を持ってほしい。
- ・本を読むこと自体に慣れていない感がある。また、書かせると誤字・脱字も多いので「学校の体制」としても考慮してほしい。

設問5. 授業改善に関することで、学科や短大に要望があれば具体的にお書きください。

a. ソフト面(科目の位置づけや時間割の組み方など)について (有効回答数 14/58)

- ・2年間で栄養士資格取得のための授業を行うにはかなり凝縮したカリキュラムと時間割になっている。基礎学問を先に、としたいところだが実際問題無理が多く、これを改革するには修業年限を伸ばすしかないのかもしれない。しかし、それは実状として無理なので、「管理栄養士」を諦めて「栄養士」に徹した教育にしてしまえばそれも一つの解決策かもしれない。
- ・学生から自由記入欄に、5限でなく早い時間帯に開講してほしいとの要望があったが、大学の学事日程などから5限の開講にせざるを得ないので了解してほしい。
- ・現在、入門講座を担当しておりますが、中級・上級へとレベルアップできる科目があると良いと思います。継続することで身につく技術なので、入門だけで終わってしまうのはもったいないと感じます。

- ・学生数によってクラス数も変わるのでやむを得ないのだろうが、コマ数の有無・数などその理由をできる限り早く知らせてほしい。
- ・女子短大としては女性学やジェンダー論にもっとふれる機会があるといいと思う。数度触れているようだが、身につくまでには至っていないようなので、もっと時間も頻度も必要だと思う。
- ・講義の第一回目等、学内行事で休講になる際は、もっと早く分かっていると有難い。
- ・授業教育のトータルなカリキュラムと、短大全体、あるいは学科単位での明確な目的、目標が欲しい。
- ・15回の講義では専門的な内容を教えることが難しいと思います。
- ・キャリアやビジネス関連の授業科目は、今後社会に出る際に求められる能力の第1位ですので、学問としても確立して必修にしてくださいの事が大切だと思います。
- ・授業に対する満足度は高いが、参加人数が少ない理由を知りたい。
- ・満足している。
- ・2限続きの講義については、受講しやすい曜日・時間帯をしっかりと把握して決定していただければと思います。
- ・大学レベルまで学力を底上げするシステムをご検討頂きたく存じます。また学生と質疑応答したり、丁寧に質問に答えたり、個別に指導できるには人数制限140名という現在のクラス規模では困難です。
- ・定員オーバーで抽選を行った科目であるのに、履修を取止める学生が多数いました。今年は例年より多く、また特定の学科に集中しているようでしたが理由を知りたく思います。
- ・中教室にもワイヤレスマイクがあるとありがたいです。

b.ハード面（情報機器、用具、備品など）について（有効回答数 24/58）

- ・よく整っている。
- ・十分に整っていると思います。
- ・プロジェクターを使用して講義を行っているが、情報機器に関しては特に支障はなかった。
- ・いつも準備していただき、そのお陰でスムーズに授業ができています。
- ・現状で満足。
- ・画像（絵画やプリント）を拡大してスクリーンに映せるプロジェクターのある部屋が有難いです。
- ・紙を使った工作が多いので、もう少し紙のストックを豊富にしていきたいと思います。大判サイズは学生に買わせるのも大変ですので、特に厚手の工作用紙やケント紙をお願いしたいと思います。

- どの教室でもパソコンをつなぎパワーポイントを使えるようにしてほしい。
- ゼミ形式で授業を行ったので、円卓のあるような教室でDVDも設置されていれば良かった。
- 機材は揃っているので満足している。
- DVD、VHS等の映像やインターネット上の e-learning システムを掲示したいので、プロジェクター、スクリーン、PC、DVD、VHS、インターネット接続等設備の充実をお願いします。
- パソコン演習室のハード面や、パソコンに入っているソフトは十分だと思う。ただ、メールソフトが一般に使われている Outlook、Outlook Express、Windows Mail でないため、メールの I T リテラシーができない。
- プロジェクターのある教室を利用しているが、受講人数の割には教室が広すぎる。もう少し狭い部屋で一体感のある授業をしたい。自由に動けるようにワイヤレスマイクの設置を望む。
- 不具合が無くスムーズに行きました。
- 教材購入に対する助成もしていただけると助かります。
- 外国手芸雑誌なども、参考資料として新しいものを揃えたい。
- 充実していて便利。
- 満足している。
- 机や椅子の移動が可能で、グループディスカッションを行いやすい教室があると、便利です。
- 冷暖房の調整について検討いただきたい。
- 出入口、排気、換気、窓の開閉、製氷機等、調理室全体が老朽化しているので、少し改善して頂きたい。
- 講義室のプロジェクターを、最近の性能のよいものに更新をご検討くだされば幸いです。
- ホワイトボードのインクが、すぐ薄くなります。見づらいと評判が悪いです。
- 板書を必要とする科目のため、ノートに写す際に見にくい教室がある。

設問 6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。(有効回答数 19/58)

[調査に対する受け止め方と、調査全般に対する意見]

- 学生のアンケート結果はほぼいつも同じです。こちらは毎年アンケートを踏まえて授業を準備しているつもりですが、相変わらず「レベルは適切か」の問いに対する回答は少し厳しいものです。四年制大学に比べれば随分内容もやさしく、量も

減らし、テストも簡単にしているつもりで、この点は学生側に歩み寄れないところがあります。大学の授業ですから、「あるレベルは確保したい」と思っています。

- 授業評価結果をどの程度重視すべきかいつも悩みます。学生がどの程度真摯に記入しているかによって受け止め方も変わると思います。マークシート方式では、その点伝わってきません。自由記入欄への記載は参考になります。自由記入欄への記入を必須にすることを考慮してはいかがでしょうか。
- 内容を記述させるようにした方がよいと思う。
- 授業時間を割き、紙資源を使って(浪費して)行うのはどうかと思う。インターネットを利用して、授業時間以外にできないものだろうか。
- 多少簡素にしても良いと思います。
- 学生が、一定時間真剣に考えた結果として回答する実施様式・方法で、精度の高いアンケートが望まれます。しかし、授業そのものに集中することすら困難な学生ですから、難しいと思います。
- この教員アンケートに毎度答えているが、FD等へのフィードバックが不十分な感じを受ける。改善が見られない、あるいは改善する余裕がないうちに次のアンケートが迫ってくる印象を受けている。
- 隔年に実施すればよいのではないか。受講者が一定数以上の教科についてのみ学生側の調査を行えばよいのではないか。受講生数が少ない授業に対しては実施が不要ではないか。また、演習科目のように学生主体の授業では不要ではないのか。細かいことだが、学生は回答時にシラバスの内容など記憶しているとは思えず、「シラバスどおりに授業が-----」という設問は意味がないのではないか。
- 学生アンケートは授業終了時に集めるのではなく、後刻教務担当で集めてもらう方がより効果的な意見を得ることができるのではないだろうか。

[調査に関する具体的提言]

- 発言に責任を持たせるために記名式アンケートにすること。
- 期末でなく中間期にアンケートを取れば、レベルの低い学生への対処方法の検討および授業方法の反省ができ、その成果を後半の授業に生かせる。
- アンケートは授業時間以外に時間を設けてまとめて行ってほしい。あまりまじめに答えているとは思えない学生がかなりいる。自由回答欄を設けて「まじめ度が判る仕組み」を取り入れてほしい。
- 数値化してもあまり意味のない項目が少なくない。
- 自由記入欄以外は参考程度にしかならない。
- アンケート用紙の処分も悩みのたねである。
- 質問の第1項で「あなたは授業中に関係のない会話をしたことがありますか」に対して「強くそう思う」と答えた者は「よく私語をした」ことを認めていること

なのだろうか？不思議に思っていたところ、よく視るとどうも集計表における誤記のようでした。アンケートシートには「全くしなかった」と書かれていて安心しました。集計時に間違いが起こらないようお願いしたい。

- ・実際には私語が少なかったと認識していたクラスで、設問 1 に「強くそう思う」の値が高かった。
- ・学生が設問 1 の意図を勘違いしているのではないのでしょうか。「授業中に自分達が関係のない話をしないように努めましたか？」というような設問にしてはどうでしょうか。
- ・学生自身の授業に対する姿勢を自己評価させる質問が増えるといいと思います。

[感想]

- ・シラバスの利用方法と意味を学生に十分理解させる必要があると感じた。
- ・毎回参考になり改善のヒントになっています。年毎に学生のタイプが変化するので、こうした「客観的資料」は有難いと思っています。
- ・学生たちがわざわざ一言コメントを記入してくれたことは嬉しかった。勇気づけられました。
- ・学生からの一言や感想を今後の授業に生かしたいと思います。

「学生による授業評価」に関する教員アンケート

自己評価委員会

2008年度後期授業アンケートについて、以下のアンケート項目にお答えください。

* 回答締め切りは、4月4日（土）、提出先は事務部（有賀）または yahata-takafumi@jissen.ac.jp（八幡）

1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。（1つ選んでください）

【回答欄】

1. 十分納得できる
2. だいたい納得できる
3. あまり納得できない

- ・ 納得できる点、あるいは納得できない点があれば具体的にお書きください。

2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見をお書きください。

- a. レベルについて

- b. 量について

3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどんなことですか。（複数回答可）

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 教科書の選び方、授業時における使い方を工夫する。
2. シラバスの書き方を工夫し、シラバスに添った授業を行う。
3. 教室での話し方、板書の仕方などを工夫する。
4. 授業時に配付する資料を充実させる。
5. ビデオや映像資料などの視聴覚教材やマルチメディアの活用を図る。
6. 学生との質疑応答など、教室内のコミュニケーションをよくする。
7. 一方的な講義でなく学生の参画や体験学習にも力を入れる。
8. その他、改善を図りたいと考えていることがあればお書きください。

4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。(複数回答可)

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 私語を慎むなど受講態度をよくしてほしい。
2. もっと積極的に質問をしたり、授業後でも分からないことがあれば聞いてほしい。
3. 教科書や教室で指示した参考書を読むなど、授業時以外でも勉強してほしい。
4. 欠席はもちろん、遅刻、早退をしないように努力してほしい。
5. その他、特に学生に「言いたいこと」があればお書きください。

--

5. 授業改善に関する事で、学科や短大に要望があれば具体的にお書きください。

a. ソフト面（科目の位置づけや時間割の組み方など）について

--

b. ハード面（情報機器、用具、備品など）について

--

6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

(この結果は、自己評価委員会で報告書にまとめた上、Web 上でも公表する予定です。)

授業に関するアンケート

実践女子短期大学

このアンケートは、学生の皆さんの意見を受けとめて、短大の授業をより良くしていくために行うものです。アンケートは無記名で行い、調査結果もデータとして統計処理します。誰が書いた回答かわかりませんし、授業の成績とも関係しません。あなたの思っていること、感じていることを正直に答えてください。

所属学科	<input type="radio"/> 日本語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 英語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 実践女子大学	<input type="radio"/> 生活福祉学科 <input type="radio"/> 食物栄養学科 <input type="radio"/> その他	授業名	
在籍学年	<input type="radio"/> 1年生 <input type="radio"/> 単位互換生	<input type="radio"/> 2年生 <input type="radio"/> その他	担当教員名	

評価項目		⑤	④	③	②	①
あなた自身の授業の取り組みについて	1 あなたはこの授業中に授業と関係ない会話をしたことがありますか	全くなかった	ごくまれにした	時々した	かなりした	毎回した
	2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない

教員の授業の進め方について	3 講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか	←	そう思う		そう思わない	→
	4 授業内容がわかるように構成されていましたか	⑤	④	③	②	①
	5 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか	⑤	④	③	②	①
	6 この授業の教科書・資料や視聴覚教材の使用は適切でしたか	⑤	④	③	②	①
	7 質問に対する教員の対応は適切でしたか	⑤	④	③	②	①
	8 総合的に考えて、教員は熱心に授業を進めましたか	⑤	④	③	②	①

授業の内容について	9 授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか	←	そう思う		そう思わない	→
	9で②か①にマークした人は次の質問に答えてください	難し過ぎた	やや難しい		やや易しい	易し過ぎた
	10 授業内容の難易度はあなたにとってどうでしたか	⑤	④		②	①
	11 授業内容の量はあなたにとって適切でしたか	←	そう思う		そう思わない	→
	11で②か①にマークした人は次の質問に答えてください	多過ぎた	やや多い		やや少ない	少な過ぎた
	12 授業内容の量はあなたにとってどうでしたか	⑤	④		②	①
	13 この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか	←	そう思う		そう思わない	→
14 この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を得ることができましたか	⑤	④	③	②	①	
15 総合的に考えて、この授業を受講してよかったですか	⑤	④	③	②	①	

授業別の特別設問	16 この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う		そう思わない	→
	17 この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	⑤	④	③	②	①

自由記入欄(授業への感想や要望などを自由に書いてください。裏面使用可)

©2009 年度実践女子短期大学自己評価委員会

- 委員長 : 萩野 敏 (英語コミュニケーション学科)
副委員長 : 松尾昇治 (教職・図書館学課程)
委員 : 高瀬真理子 (日本語コミュニケーション学科)
西脇智子 (生活福祉学科)
久保勝知 (食物栄養学科)
庶務 : 八幡隆文、有賀昌子